

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 竹末 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.13 | 19.00 | 33.99 | 40.61 | 46.91 | 9.48 | 151.16 | 20.51 | 52.60 |
| 本市 | 16.30 | 19.17 | 34.49 | 40.75 | 49.29 | 9.48 | 152.47 | 21.39 | 53.38 |

<女子>

| 本年度の結果 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール投げ | 体力合計点 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|----------|-------|
| 全国 | 16.02 | 18.05 | 38.47 | 38.74 | 36.81 | 9.71 | 144.34 | 13.22 | 54.29 |
| 本市 | 16.35 | 18.36 | 38.88 | 38.78 | 39.26 | 9.70 | 145.97 | 13.51 | 55.18 |

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

・「運動やスポーツが好きか」という問いでは、全国平均をやや下回っている。しかし、「ICTを活用した学習」については、全国平均を上回っている。これは、体育のみならずあらゆる教科でICTを活用した授業を学校全体で推進していることによる。

・「体育が楽しい」や「進んで学習に参加する」に関しては、全国平均をやや下回っている。さらに児童が目標をもって、楽しい、わかる授業をつくっていかなければならない。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・授業のはじめの5分間の柔軟性及び、体力向上のためのプログラムを継続してきた。これからも全学年で意識して取り組んでいく。

・一時間の授業の中での活動時間(運動する時間)をできるだけ多く確保する授業の構成を考えていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・5分間運動場を走る「マラソン週間」や異学年児童で構成する縦割りグループを活用した「長縄跳び週間」など、学校全体で取り組む活動を仕組んできたことで、日頃からランニングをしたり、縄跳びをしたりして楽しむ児童が増えた。

・これらの取り組みは期間限定だったので、年間を通して子どもたちが運動に進んで取り組めるようなものも計画できればと考える。